**Kathy Lien,**
*Director of Currency Research*

gftforex.com
One World Financial Center, 200 Liberty Street
22nd floor, New York, NY 10281

**BY KATHY LIEN**

**今日の FX マーケット　02.15.12**
**（2012 年 2 月 16 日発行）**

## EUR: 約束だけでは市場は納得しない

結局欧州はギリシャのデフォルトを容認するのではとの懸念の高まりを背景に、今日ユーロは米ドルに対して急落した。ユーログループのユンケル議長は電話会談後に発表したステートメントで、大きな進展が見られたと述べたが、投資家はもはや言葉だけの約束に耳を貸そうともしなかった。彼らが期待したのはあくまで救済資金支払いの明確な確約であり、それが提示されないことで、ユーロは買手を失った。ユンケル議長は 2 月 20 日の決着に自信のほどを伺わせたが、再三の結論先送りで、市場は進展の兆候にすら無反応になりつつある。ギリシャ政府の当局者がこれに反発し、興奮のあまり意味を為さぬ発言をしたからと言って、彼らを非難するのも当たらない。ギリシャのベニゼロス財務相は、「第一次救済パッケージの際に要求された条件のほとんどは達成した。不幸にも次から次へと新条件を突き付けられている」と述べた。パプリアス大統領も言葉を選ばず、ドイツ、オランダ、フィンランドがギリシャを「侮辱し、」「馬鹿にしている」と、公の場所で怒りをあらわにした。ユンケル議長は決着が間近であると述べたが、これまで何度も繰り返された約束だけでは、もはや市場は納得しない。仮にユーログループが意見をまとめ上げ、月曜日に第二次救済資金支払いの最終決定を下すことができれば、これまで様子見を決め込んでいたトレーダーも再びユーロ買いに走り、EUR/USD は上昇するだろう。デフォルトで多くを失うのはユーロ圏とギリシャの双方であり、両社がリスクの大きさを理解し、これを何としてでも回避するよう望むばかりである。

今日発表されたユーロ圏の経済指標は予想を上回った。経済成長は第 4 四半期にマイナスとなったものの、落ち込みの度合いはエコノミストの予測より小幅であった。イタリアでは GDP が前期比 0.7%減少、ドイツでは同 0.2%減少、フランスでは 0.2%増加した。ユーロ圏全体の昨年第 4 四半期 GDP はマイナス 0.3%となった。既に英国と日本でも同様の落ち込みが発表されており、昨年第 4 四半期が多くの国にとって困難であったことを伺わせた。しかし今年の第 1 四半期には改善が見込まれ、この為今日の発表に対する失望は限定的であった。ユーロ圏の貿易黒字が 2004 年 5 月以来最大となったとの報道も歓迎された。

## USD: FOMC 議事録に新味なし、QE3 は依然選択肢

株価は大幅に値を落としたが、米ドルは主要通貨に対して上昇或いは同水準で今日の取引を終えた。取引序盤には AUD, NZD, GBP, CAD が上昇したが、投資家が逃避先としての米ドル買いを優先したため、その後反落した。米国では多くの指標が発表されたが、どれも金融政策の今後を左右するものではなかった。唯一明らかなことは QE3 が依然選択肢として存在することであるが、その緊急性の認識について、FED の考えは決して一枚岩ではない。今日発表された連邦公開市場委員会 FOMC の議事録によれば、少数のメンバーは追加の資産購入が「近く」または「2012 年度中に」正当化される可能性があると指摘した。一方で、「そうした政策は経済状況が悪化するか、インフレ率が 2%以下に留まる可能性が高い場合にのみ必要となり得る」と指摘するメンバーもいた。すなわち、FED の態度は今後発表される経済指標次第ということだ。議事録ではまた、2014 年度末まで FED のバランスシート縮小の予定はないことが記されたが、委員の一人 Jeff Lacker リッチモンド連銀総裁は、前例のない明確さで政策変更の時期までを予告することに反対した。何人かの委員は、労働市場で一層の改善が伝えられてはいるものの、景気の回復は依然緩慢であり、失業率は過去最高水準に留まっていると指摘した。特に欧州各国が財政赤字削減に向けて財政緊縮に懸命となる状況下、世界的な低成長は今後も米経済の足を引っ張ることになろう。米国では木曜日の午前中にも、週間新規失業保険申請件数、住宅着工、住宅建築許可件数、生産者物価指数、およびフィラデルフィア地区連銀製造業業況指数など、多くの指標が発表される。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではございません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録（関東財務局長（金商）第 268 号）および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp © 2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 版権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。CD08J. 006. 011212